

SDGs の取組みPR

令和3年9月30日

① タイトル	クレヨンでつなぐ「もったいない」のころ『マーブルクレヨンプロジェクト』 ～コロナ禍の子どもたちのおうち時間に彩りを届けよう～
② 主な目標	 
③ 目的・概要	コロナ禍でお家にいる時間が長くなった子どもたちに、お家で使わなくなったクレヨンを回収して、各ワークショップにて再生させます。 その作ったクレヨンを包む布を株式会社艶金の廃材より提供。クレヨンと一緒にセットするノートにサンメッセ株式会社の廃紙より提供し、地域の小中学校・幼稚園＆保育園の子どもたちに寄贈します。 また、ワークショップ時や著名人を招いたイベントにおいて SDGs についての啓発を図ることでアフターコロナを支える子どもたちの育成を図ります。 具体的にワークショップでは、マーブルクレヨンが固まるまでの間、お家にある廃材や再利用できるものなどでおもちゃを一緒に作ったり、クイズなどをして子どもたち向けに SDGs セミナーを行います。 また、寄贈させて頂くノートとクレヨンで、子どもたちに「大垣の未来」をテーマに絵を描いてもらい2月にコンテストを行う予定です。 また、取組みの成果を県内企業に周知する報告会も開催予定です。
④ 詳細	【取り組む内容】 ア) 各小中学校・幼稚園・ショッピングセンターにてクレヨンの回収 イ) SDGs セミナーや講演（下記 ウ・エと併催） ウ) もったいないばあさんイベント＆セミナー 目的：小さな子どもたちから大人まで SDGs について知ってもらう 場所：岐阜県内のホールおよび体育館 対象：80～100 組（未就学児と大人） 内容：絵本「もったいないばあさん」の著者「真珠まり子」さんをお招きし子どもたちへ絵本を通して SDGs について一緒に学ぶ 理由：子どもたちに SDGs 指標⑫を「もったいない」のころを絵本で馴染のある真珠まり子をお招きし一緒に学ぶ。絵本の読み聞かせや絵本を書いた経緯ど、ご自身の子育て経験をもとにママたちへの講話予定。 エ) 地域の子どもたちや障がい者たちとマーブルクレヨンのワークショップ 場所：ショッピングセンターや小学校・保育園・学童・マルシェなど 対象：各回 30～40 名 回数：5～6 回（予定）

	オ) 地域の子どもたちへマールブルクレヨンのプレゼント (目標 40,000 本) カ) プロジェクトの報告 (FM ラジオ or テレビ収録&取材) 目的: 取組みの成果を主に企業に向けて発信することで活動の輪を広げていく 内容: 県内の会議室等の報告会んの他、ラジオやテレビ等のメディアを活用し 取組みを広く周知する キ) コンテストの実施 寄贈するノートとクレヨンで「大垣の未来」をテーマに絵を書いても らいコンテストを実施 【連絡先】 株式会社リリフル 代表取締役 金森律子 電話 (0584) 84-2325
⑤関連URL	株式会社リリフル (lilifull.co.jp)
フリガナ	カブシキガイシャ リリフル
会員名	株式会社リリフル